

2024年7月1日本格稼働

鹿嶋可燃ごみ中継センター



★どうして変わったの？

今まで可燃ごみは、乾燥してRDF(固形燃料)化され、助燃剤として利用されてきましたが、施設の老朽化に伴い処理経費が増加し、環境負荷の問題がありました。そのため、鹿嶋市と神栖市で構成される鹿島地方事務組合により、低炭素社会を目指す国の方針に沿った新しい焼却施設である鹿島共同可燃ごみクリーンセンターが神栖市内に建設され、令和6年4月1日より本格稼働しました。

★鹿嶋可燃ごみ中継センターの特徴

ごみの効率的な収集と地域住民の利便性を確保するとともに鹿島共同可燃ごみクリーンセンター周辺の渋滞緩和を図るため、鹿嶋可燃ごみ中継センターが建設され7月1日より本格稼働されます。鹿嶋可燃ごみ中継センターでは、集めた可燃ごみをコンパクト方式でコンテナに圧縮して詰込み、大型車に積載して鹿島共同可燃ごみクリーンセンターへ運搬します。